

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	既遂者から見た自殺リスク要因 -自殺既遂者 4 例の後方的調査-
研究責任者	看護部管理室 高橋淳子
研究実施体制	無し
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 9 月 6 日
対象者	聖隷浜松病院で外来通院し自殺既遂したがん患者さん 4 名
研究の意義・目的	我国の自殺者推移は 2 万人止まりの状態が続いています。また、がんサバイバーの自殺の実態は明らかになっておらず学会発表症例も少ないですが、海外の調査では自殺の危険性が高いと報告され、うつ状態や痛み、不良な身体状態などが存在する場合、特に、自殺の危険性に注意する必要があるとされています。当院における先行研究(2023 高橋、梅田)において、がん治療を行っている外来患者延べ 272 件(60. 0%)が自殺のリスクが高いという結果でした。これらから、当院に外来通院し自殺既遂したがん患者さんの後方的調査を行うことで、自殺対策の基礎である自殺のリスク因子を抽出し、外来患者さんへの自殺対策に関する課題を見出すことを目的に研究を行いたいと考えました。本研究は、がん患者・家族、医療者における自殺事故予防対策に関する支援の充実に寄与すると考えられます。
研究の方法	後ろ向き観察研究(診療録から調査項目を収集し共通内容を導き出し自殺のリスク因子を同定する)
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部管理室 (氏名)高橋淳子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日